

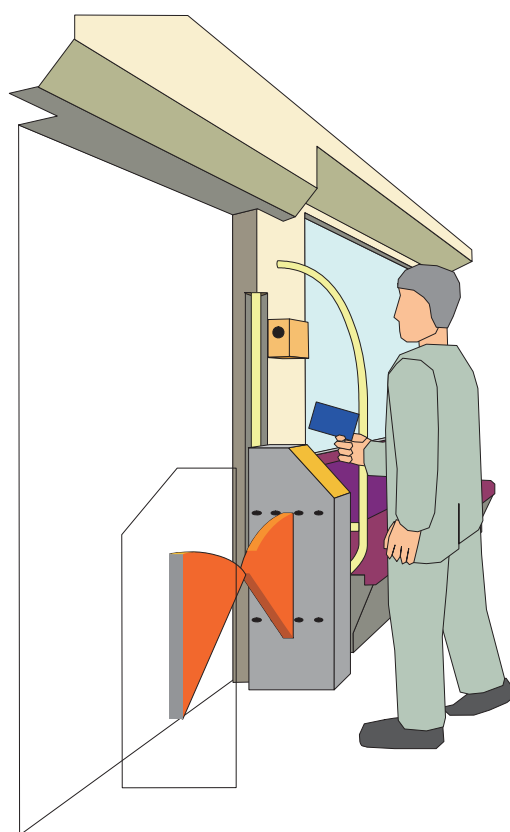
車載式自動改札機

【概要】

閑散線区や路面電車では、乗車または降車時に乗務員に運賃を支払う方式が一般的ですが、この方式では乗車または降車が可能な扉は乗務員が配置されたところに限られてしまいます。この問題の解決を目指して、車両の扉に設置するタイプの自動改札機を開発しています。試験装置を用いて被験者による流動試験を実施した結果、通過性能の面では実用に耐える可能性があることも確認しています。

【特徴】

- ・ワンマン運転でも、多くの扉で乗降できるようになります。
- ・乗車した扉から降車できるようになり、バリアフリーに役立ちます。
- ・自動改札機の抑止効果により、運賃の捕脱を削減できます。
- ・自動改札機の導入による乗降時間の増加は、1人あたり約0.5秒（≒ゲートの開閉時間）程度です。



車載式自動改札機のイメージ

【展開】

- ・2007年度に試作機を製作し、実車両で試験を実施します。
- ・鉄軌道事業者に導入を働きかけます。



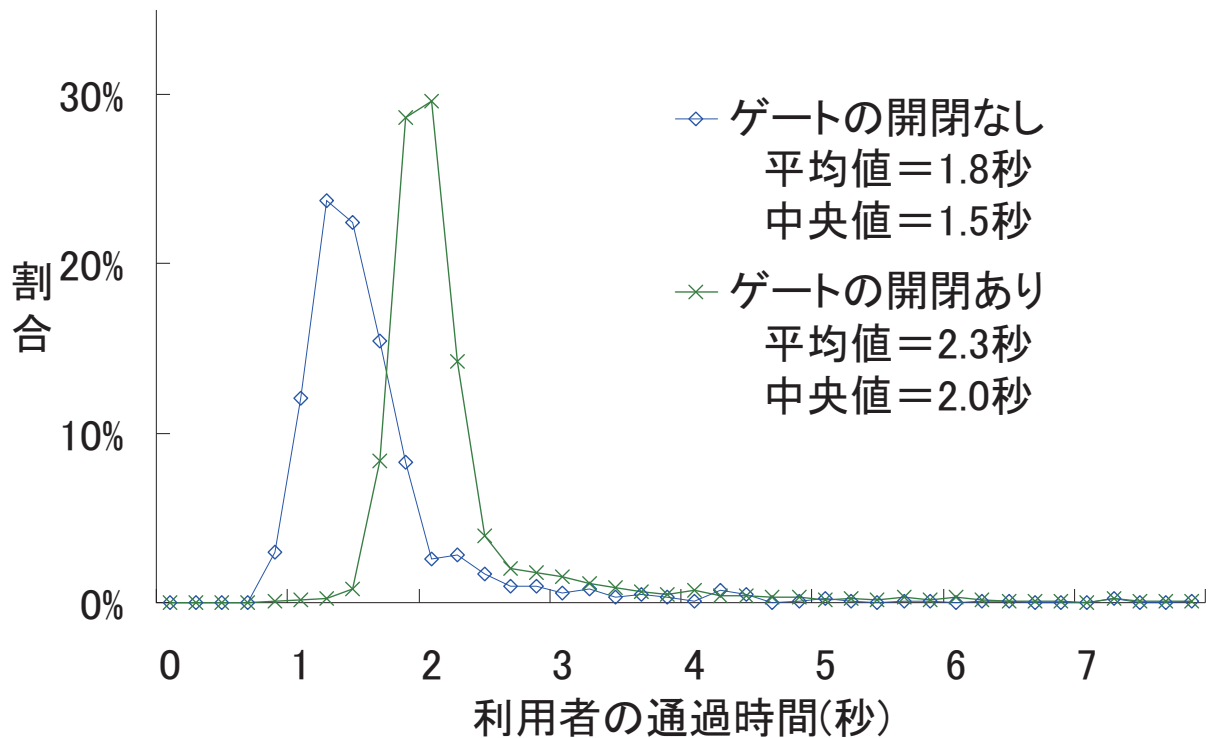
試験装置の外観



降車する被験者
(黄色の帽子)

降車終了を待つ
乗車する被験者

流動試験の様子
(左の試験装置を用いた試験)



流動試験結果